

MGF は、☪神第一主義、☪キリスト中心主義、☪聖霊主導主義の教会

礼拝黙想 Meditating on Worship

「イスラエルは、存在しなければならず、存在する権利を有しており、世界の民主主義の偉大な前哨の一つである。」
(マルティン・ルーサー・キング・ジュニア)

A【中東紛争の根源と言われるイスラエル】

イスラエルは1948年の建国以来、「中東問題の根源」とされ、イスラエルが無ければ、中東に平和が訪れると言われてきました。しかし、統計によれば、1950～2007年の間で殺された1100万人のムスリム(イスラム教徒)は、その90%が同じムスリムによって殺されています。イスラエルとの戦争や紛争によって殺されたムスリムは全体の0.3%。中東紛争の多くは、イスラム教徒同士の争いに端を発しているのが事実。IS(イスラム国)やアサド政権の大量殺戮に対しては沈黙し、ネタニヤフ首相を戦争犯罪者として訴える署名が英国で10万以上集まっていることから、このような事実の誤認がうかがえます。

◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇

〈テロ行為に走るパレスチナ人を覚えて〉

パレスチナ人の単独テロリストに関する調査結果が5月、イスラエル公安省から発表されました。それによると、テロ実行者の67%が何らかの精神疾患や自殺願望を抱えていました。

イスラム教では自殺が許されていない一方で、テロ攻撃で亡くなった場合は殉教者として英雄扱いを受け、遺族にはパレスチナ自治政府から報奨金が支給されます。個人的な問題を抱え、解決策が見出せない自殺願望者にとって、テロ攻撃で命を落とすことは「宗教的に正当な方法となる」と、調査に関わった心理学者のアリエル・メラリ教授は語っています。

* テロリストを英雄扱いするパレスチナの社会体制が変えられていくように

* パレスチナ自治政府が、人々をテロ行為へと導く報奨金の支給をやめるように B.F.P. Japan 月刊オーブライフより * * * * *

イスラエルに関するよくある誤解(1)イスラエルはパレスチナ人から土地を奪って建国された

イスラエルに関する誤解の一つに、「イスラエルはパレスチナ人から土地を奪って建国された」というものがあります。これはよく聞く主張ですが、イスラエル建国の歴史を紐解くと誤解であることがわかってきます。この誤解を解くには、以下の5つの事実を確認する必要があります。

- 1. パレスチナ人という民族は存在しない
2. パレスチナ人の国は歴史上存在したことがない
3. パレスチナはユダヤ人入植者と共に発展してきた
4. 国連パレスチナ分割案は人口比に従って作成された
5. イスラエルは国際法に従って建国された

聖書ニュース.com より

* * * * *

【解説】イスラエル・パレスチナ紛争 メディアが伝えない4つの事実 (FNN プライムオンライン)

(1)イスラエルを武力攻撃しているのはイスラム過激派テロ組織

第一に、イスラエルを武力攻撃しているのはハマスというイスラム過激派テロ組織であり、一般のパレスチナ人ではない。日本やアメリカ、EUなどはハマスをテロ組織指定している。今回の武力衝突がイ

スラエルとパレスチナ人一般の衝突であるかのように伝える報道は不正であり、ハマスがテロ組織であることへの言及を避けることはハマスのテロの正当化に他ならない。

(2)「貧困ビジネス」で財をなすハマス

第二に、ハマスは「聖地エルサレムの守護者にしてパレスチナ人の擁護者」を自称するが、実際はパレスチナ人も多く居住する「聖地」であるはずのエルサレムにロケット弾を撃ち込み、ガザ地区でもロケット弾の誤射や飛距離不足などで多くのパレスチナ人を殺傷している。

ガザ地区を武力で実効支配するハマスは、ガザの人々のための国際的な支援物資や資金を収奪してテロのインフラを作ったり、幹部が贅沢な暮らしをしたりしていることもよく知られている。

メディアはしばしばガザを「天井のない監獄」と描写するが、ガザ封鎖の直接的な原因を作りガザの人々を抑圧している直接の「犯人」はハマスである。

メディアはハマスがあたかも「イスラエルによって抑圧されたかわいそうなパレスチナ人のために戦う正義の戦士」であるかのように報道するが、パレスチナ人のために戦うどころかパレスチナ人を人間の盾として利用し、彼らのための支援を横取りするいわば「貧困ビジネス」で財をなしているのがハマスだ。

ハマスの主張と行動が大いに矛盾していることも、メディアは決して伝えない。

(3)ハマスとメディアは「グル」である

第三に、ハマスのロケット弾攻撃とイスラエル軍の報復の空爆を同列に捉えるのは誤りである。ハマスのロケット弾攻撃は子供や女性、老人を含む一般のイスラエル人を狙った無差別テロである。ハマス

はもちろん、イスラエルの子供も殺しているが、メディアはその事実も軽視あるいは無視する。一方イスラエル軍が空爆しているのはハマスの拠点やロケットランチャー、トンネル、幹部の家などであり、空爆前には近隣住民に電話やテキストメッセージなどにより退避を要請している。またハマスは拠点を意図的に住宅地に設置し、あるいは学校や病院など民間施設にトンネルの入り口を作ったり、武器庫として使ったりすることにより、イスラエル軍にそうした民間施設を空爆させ、それを世界的なメディアに取材させ、国際的な非難をイスラエルに向けさせるという戦略を長年とっている。ハマスとメディアが「グル」であることは、かつて AP 通信の記者としてイスラエルを取材してきたマッティ・フリードマンをはじめとする、多くの記者や研究者が指摘している。

(4)イスラエル・パレスチナ紛争は「宗教戦争」ではなく「領土問題」だ

第四に、イスラエル・パレスチナ紛争をあたかも「聖地エルサレム」をめぐる宗教戦争のように報道するのも大きな誤りである。この問題の本質は領土問題である。領土問題には双方に言い分があり、日本政府はこれについて「難民、入植地、エルサレム、国境画定など個々の問題の解決を図って、イスラエルとともに共存共栄するパレスチナ国家を建設すること」すなわち「二国家解決」を支持すると表明している。これは国際的に多くの支持を集めている考え方でもある。一方ハマスは、武力攻撃によりイスラエルという国家を消滅させることを目標に掲げている。イスラエルは 900 万人の国民を抱える歴とした国家であり、当然、国民と国土を守る自衛権を有している。アメリカやドイツ、フランス、カナダなど主要先進国はハマスのテロ攻撃に対するイスラエルの自衛権を支持すると明言している。イスラエルだけを悪魔化しハマスのテロ行為を隠蔽する報道は、単に偏向してい

るだけでなく、イスラエルの自衛権を否定し、900 万人のイスラエル人は殺されて然るべきなのだと主張するに等しい、極めて倫理的に問題のある報道である。

【執筆:イスラム思想研究者 飯山陽】

テロリズムというビジネス by 明石清正

日本国内のニュースにおける、ハマスについての解説で、「イスラエルに包囲されているガザの窮状があり、やむにやまれぬ抵抗をしているのだ。」という類の話がしばしば出てきます。しかし、ガザに住む人々の苦しみは、ひとえに、とんでもない悪い指導者を抱いてしまったゆえの苦しみです。ガザ市民は重税が課せられ、それが指導部に吸い取られています。ハマスは年間約 7 億ドルの収益を誇っており、世界でも最も裕福なテロ組織として第三位という記事が出ています。(フォーブス・イスラエル 2021 年 5 月)イランからの資金供与が最も多いのですが、ガザに入り込んでくる様々な品目に、多額の税金と課徴金、また車両等にはライセンス料を貸しています。また、主要な輸送路を通過する全てのトラックにも税金が欠けられ、不動産物件には 17%の徴税です。そして、カタールからの援助金は年間 3 億円ですが、それをシェケルに換金する会社からも税金を課しています。またハマスは、不動産、保険、銀行、カフェ、レストラン、ホテルなど、数百のビジネスを展開してあります。ガザには豪華なショッピングモールがあり、豪邸もあります。前の指導者は、資産が 20~50 億ドルあったとされ、今の指導者イスマイル・ハニヤは、400 万ドルあるとされています。

19 日イスラエルのヤイル・ラピード野党党首が、ガザ病院『空爆』の件を受けて海外メディアへ向けての会見を行い、こう発言しました。

質問です。
赤ちゃんや妊娠中の女性、そして 13 歳の自閉症の女の子と 80 歳の祖母を、残酷な形で殺すことに問題を感じない組織が、嘘をつくことに問題を感じるのでしょうか？
ここ最近の様々な偏向・歪んだ報道の中で、最もひどいのがバランスです。世界中の多くのメディアが、読者・視聴者に対して「バランスの取れた」報道として、両サイドの主張を同列・等しい形で伝えてあります。命を守る民主主義国家の主張と、命を憎む残忍なテロ組織の主張を、同等にです。
ハマスの虚言は、政策になっているのです。私たちの子供を殺したうえでこちらを批判し、自身の子供を殺した時も、私たちを批判します。人々を「人間の盾」にし、彼らが逃げようとした際には銃を向け、それらを膨大なフェイクニュースで隠ぺいしています。これは最も皮肉に満ちかつ恐ろしい、表現の自由に対する仕打ちです。
メディアは、(上記のような等しい形で)ただ単に「双方の主張を伝えているのだ」と主張することはできません。それは一方、ハマス側の主張のみを伝えているのと同じです。それは臆病で怠惰な行為です。またパレスチナ人の犠牲者を含む、犠牲者たちに対する侮辱的行為でもあります。そして同時に、ジャーナリズムが何たるかというコアになる概念に対する、侮辱です。
31 年間ジャーナリストだった経験から、私は発言しています。イスラエルへの批判は、問題ありません。しかし片方は嘘をつき、もう一方は事実確認のため最大の努力をしていることを知っているのであれば、私たちは次のことを最低限期待します— あなたたちが嘘に対し、終わることのない舞台を与え続け(=報道し続け)ないことを。

シオンとの架け橋よりΩ

<お知らせ Announcement>

★10月29日(日) ディアコノスの給食あり☑ 午後はムービーフェローシップ

「教会【マラナサ・グレイス・フェローシップ(略称:MGF)】はキリストのからだであり、すべてのものをすべてのもので満たす方が満ちておられるところです(エペソ1:23)。「あなたがた【MGF】は、キリストにあって満たされているのです。キリストはすべての支配と権威のかしらです(コロサイ2:10)。

MGF はキリスト狂徒の集まるキリスト狂会

TRUE WORSHIPPERS, HOT GOSPELLERS, JESUS FREAKS
To Know Christ And To Make Him Known ♡ Love God And Love People ♡ Jesus Is Coming